

国公立連携による文系DX人材育成 ～見えてきた課題と解決に向けての実践～

松 野 浩 嗣

山口地域SPARC事業責任者
（山口大学 理事・副学長）

3大学の「文系DX人材」育成課程

事業目的 2



新しいキャンパスで充実した学生生活を。

2020年度以降徐々にリニューアルした新しい校舎に、自由に使える学生自治室、ミーティングルーム、情報処理室などが完備。一歩新しい環境を堪能できる施設や売店のある建物で、ますます便利で快適なキャンパスライフをサポートします。

OPEN CAMPUS 2023 7月15日(土)/8月6日(日)

山口県立大学の魅力を体験！

※参加予約が必要です。

公立大学法人 山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

国際文化学部 国際文化学科 文化創造学科 情報社会学科
社会福祉学部 社会福祉学科 看護学部 看護学科
経済学部 経済学科 工学部 工学学科
2024年度入学生は、入学後、1学年から2学年まで、専攻科(専攻)を選択することができ、専攻科(専攻)を卒業すると、専攻科(専攻)の学位が授与されます。

〒753-0021 山口県徳山市2番21号 TEL: 083-929-6503
URL: <https://www.yamaguchi-pu.ac.jp>



山口大学
「ひと・まち未来共創学環(仮称)」
令和7年度設置

山口県立大学
「情報社会学科(構想中)」
令和7年度設置

山口学芸大学
「文系DX人材育成教育プログラム」

SPARC教育プログラムの連携開設科目

事業計画

3-1

連携開設科目開講計画

年度	学期	科目名	提供大学	担当教員	クラス数	受講大学			実施方法	
						山口大学	山口県立大学	山口学芸大学		
令和5年度 (試行)	セメスター	地域学	山口県立大学	山口県立大学		○	○			
	セメスター	DX概論（4回分のみ）	山口大学	山口大学		○	○			
令和6年度 (試行)	前期	セ. セ. ク. ク. ク.	全国初の国公立大学による 大学等連携推進法人の設置 一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム 令和5年3月設置 文化まち山口県立大学 国際文化学部の再編 情報社会学科（仮称）の新設 ——令和7年4月設置予定—— 〈養成する人材〉 地域社会の未来をリデザインし、 人々の暮らしのDX推進に貢献できる人材 まちひと山口大学 ひと・まち未来共創学環 （仮称）の新設 ——令和7年4月設置予定—— 〈養成する人材〉 人間の心理・行動の理解と地域社会 に対する分析力を基礎として地域課 題の発見と解決ができる高度DX人材 教育文化山口学芸大学 文系 DX 教員養成 プログラムの新設 ——令和6年4月開始予定—— 〈養成する人材〉 将来のDX推進に貢献できる STEAM人材を育てる教員 ※本学開校は令和6年4月							
	後期	セ. セ. セ.								
令和7年度	前期	セ. セ. セ. ク. ク. ク.	分野横断・地域課題PBL（アントレプレナー教育含む）…3大学共同開設… 連携開設 SPARC教育プログラム DXによるPBL教育 STEAM教育							
	後期	セ. セ. セ.								
令和8年度	前期	セ. セ. セ. セ.	分野横断・地域課題PBL（アントレプレナー教育含む）…3大学共同開設… 連携開設 SPARC教育プログラム DXによるPBL教育 STEAM教育							
		セ. セ. セ.								
		ク. ク. ク.								
		ク.								
	後期	セメスター	データ科学のための基礎数学	山口大学	山口大学		○	○	○	
		セメスター	地域文化論	山口県立大学	山口県立大学		○	○		
		セメスター	コミュニティデザイン論	山口県立大学	山口県立大学		○	○		
		セメスター	人工知能概論	山口大学	山口大学		○	○	○	

記載省略

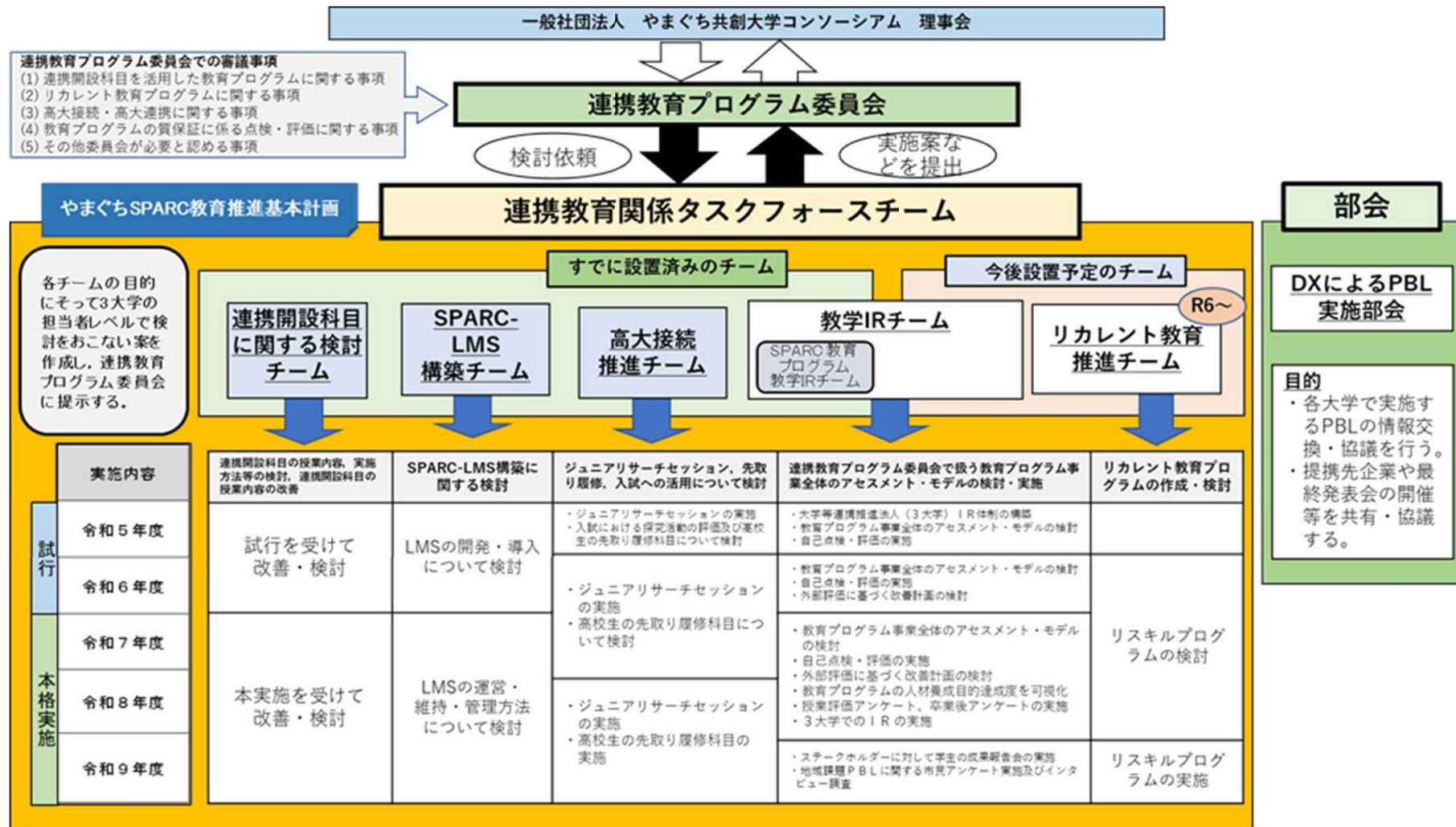
SPARC教育プログラムの連携開設科目

事業計画 3-2

連携開設科目開講計画

年度	学期	科目名	提供大学	担当教員	クラス数	受講大学			実施方法
						山口大学	山口県立大学	山口学芸大学	
令和5年度 (試行)	セメスター	地域学	山口県立大学	山口県立大学		○	○		2科目
	セメスター	DX概論 (4回分のみ)	山口大学	山口大学		○	○		
令和6年度 (試行)	前期	セメスター	山口県立大学	山口県立大学		○		○	7科目
		セメスター	山口大学	山口大学		○			
		クォーター1	山口大学	山口大学		○	○	○	
		クォーター2	山口大学	山口大学		○	○	○	
		クォーター2	知的財産入門	山口大学		○	○	○	
	後期	セメスター	DX概論 (4回分のみ)	山口大学			○		
		セメスター	データ科学のための基礎数学	山口大学		○	○	○	
令和7年度	前期	セメスター	地域学	山口県立大学	記載省略	○		○	9科目
		セメスター	統計学概論	山口大学				○	
		セメスター	DX概論	山口大学		○		○	
		クォーター1	データ科学と社会I	山口大学		○	○	○	
		クォーター2	データ科学と社会II	山口大学		○	○	○	
		クォーター2	知的財産入門	山口大学		○	○	○	
	後期	セメスター	データ科学のための基礎数学	山口大学		○	○	○	
		セメスター	地域文化論	山口県立大学		○	○		
		セメスター	人工知能概論	山口大学				○	
令和8年度	前期	セメスター	地域学	山口県立大学		○	○	○	11科目
		セメスター	統計学概論	山口大学		○	○	○	
		セメスター	DX概論	山口大学		○	○	○	
		セメスター	デザイン思考論	山口県立大学		○	○		
		クォーター1	データ科学と社会I	山口大学		○	○	○	
		クォーター2	データ科学と社会II	山口大学		○	○	○	
		クォーター2	知的財産入門	山口大学		○	○	○	
	後期	セメスター	データ科学のための基礎数学	山口大学		○	○	○	
		セメスター	地域文化論	山口県立大学		○	○		
		セメスター	コミュニティデザイン論	山口県立大学		○	○		
		セメスター	人工知能概論	山口大学		○	○	○	

「SPARC教育プログラム」実行のための体制



SPARC教育プログラム連携開設科目の 実施要項

進捗状況 5

SPARC 教育プログラム連携開設科目の実施要項

連携教育プログラム委員会
2024年2月8日修正

*本要項は2024年1月現在のものであり、今後状況に応じて、追加、修正をおこなう。

[語句の定義]

・連携開設科目

連携大学（山口大学、山口県立大学、山口学芸大学）間において、ある大学が設置する（開講する、実施する）授業科目を異なった大学に所属する教員が担当する授業科目。本実施要項内の「連携開設科目」については、SPARC 教育プログラムの下で実施され、開講大学（=受講大学：以下参照）における連携開設科目及び提供大学（以下参照）の同一授業科目名の授業で開講大学（=受講大学）と同一クラスで実施する授業を含むものとする。

例 山口県立大学の「〇〇概論」を山口大学の教員が担当する。

「〇〇概論」の設置大学（開講大学、受講大学）は山口県立大学であり、受講学生は山口県立大学の学生。「〇〇概論」は山口県立大学にとっては「連携開設科目」（他大学が提供する）である。提供大学、講師大学は山口大学。山口県立大学のクラスと同一クラスで実施する山口大学の「〇〇概論」についても「連携開設科目」（自大学が提供する）とする。

・（授業）開講大学

連携開設科目を設置し、開講する大学。受講学生の所属する大学。受講大学と同意。

・（授業）提供大学

連携開設科目の担当教員が所属する大学。講師大学と同意。

・講師大学

連携開設科目を担当する教員が所属する大学。授業提供大学と同意。

・受講大学

連携開設科目を受講する学生が所属する大学。授業開講大学と同意。

・カウンターパート教職員

連携開設科目の受講大学に配置する教員あるいは事務職員。授業の担当教員との連絡窓口であり、受講大学や受講学生との連絡や調整を行う。（授業時間中に授業についておく必要はない。）

1. シラバス

- ・ 3大学シラバス項目間の対照表
- ・ 入力期間の共通化

2. 履修登録・成績入力

- ・ 他大学学生の成績入力

3. 授業の実施

- ・ 公認欠席制度の有無への対応
- ・ 教員が休講にする際の対応

4. 試験について

- ・ オンライン時の試験監督
- ・ 再試験制度の有無への対応

5. 成績の意義申し立てについて

6. 配慮学生への対応

7. 再履修について

3大学の授業時間の統一

課題1：連携開設科目の実施

報告したいテーマ 6

・組織の違いを乗り越え、如何に教育効果をあげて行くか

- ✓ オンライン・オンデマンドの効果を十分に考える
- ✓ 時間割や学年暦の共通化
- ✓ 「本務として他大学の学生を受け持つ」ということは・・・
 1. 連携開設科目では所属大学の授業の他大学への提供となるので、非常勤講師とは根本的に違う
(非常勤講師は他大学の授業の担当となり、手当は本人に支払われる)
 2. 連携開設科目担当教員へのインセンティブを考える必要性
(通常、所属学科やコース等で教員負担を平準化しており、新たな負担がかかることへの対応)

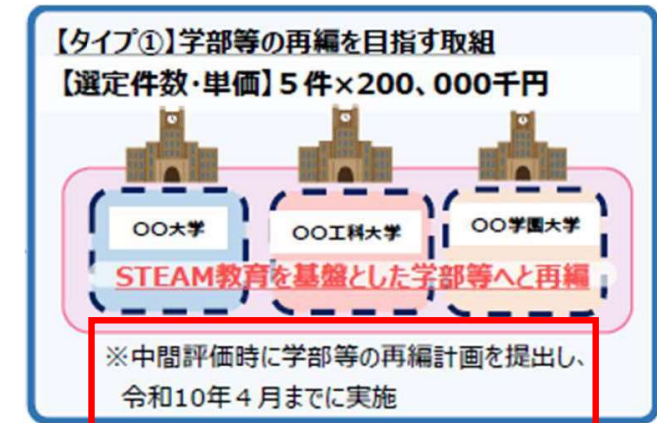
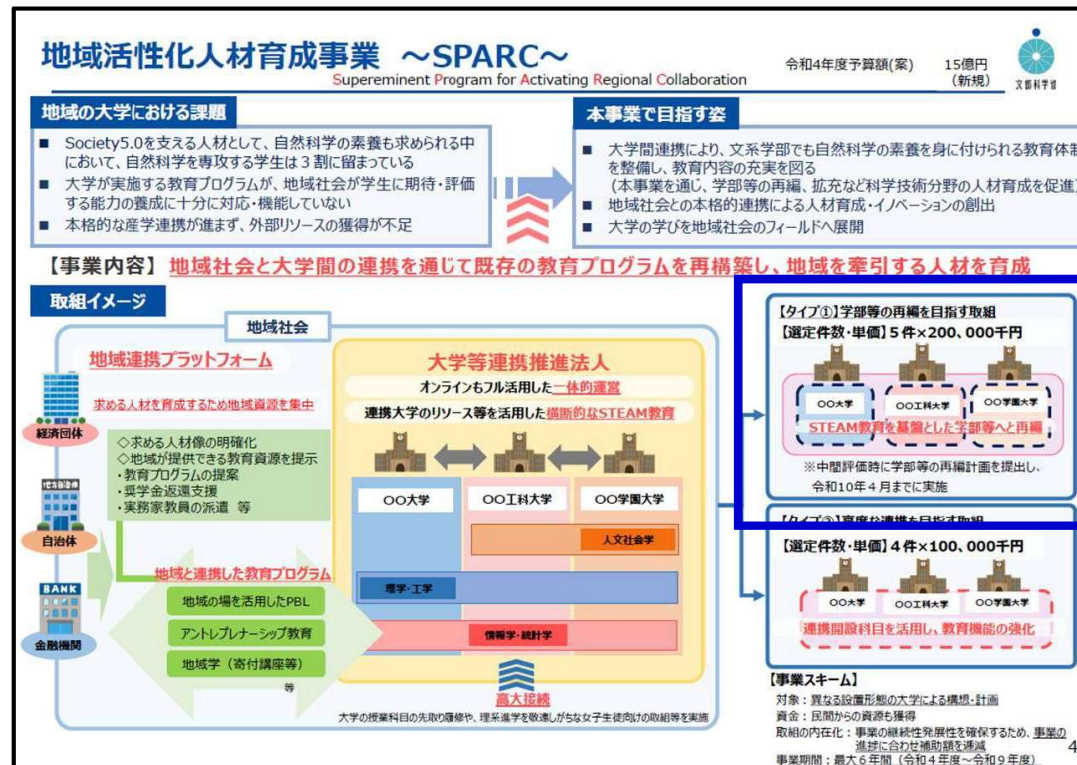
・連携開設科目実施のために工夫すべき点は多い

- ✓ SPARC事業実施大学群に課せられた大きなテーマ
- ✓ 各大学が「個々に解決すべき課題」と「共同して解決すべき課題」を解決していかななくてはならない

課題2：学部等の再編と検証・評価

報告したいテーマ

7



中間評価時(令和7年度)に再編計画を提出し、令和10年4月までの設置が求められている

- 求める人材像の明確化
- 教育プログラムの提案(構築)

並行実施

山口方式SPARC

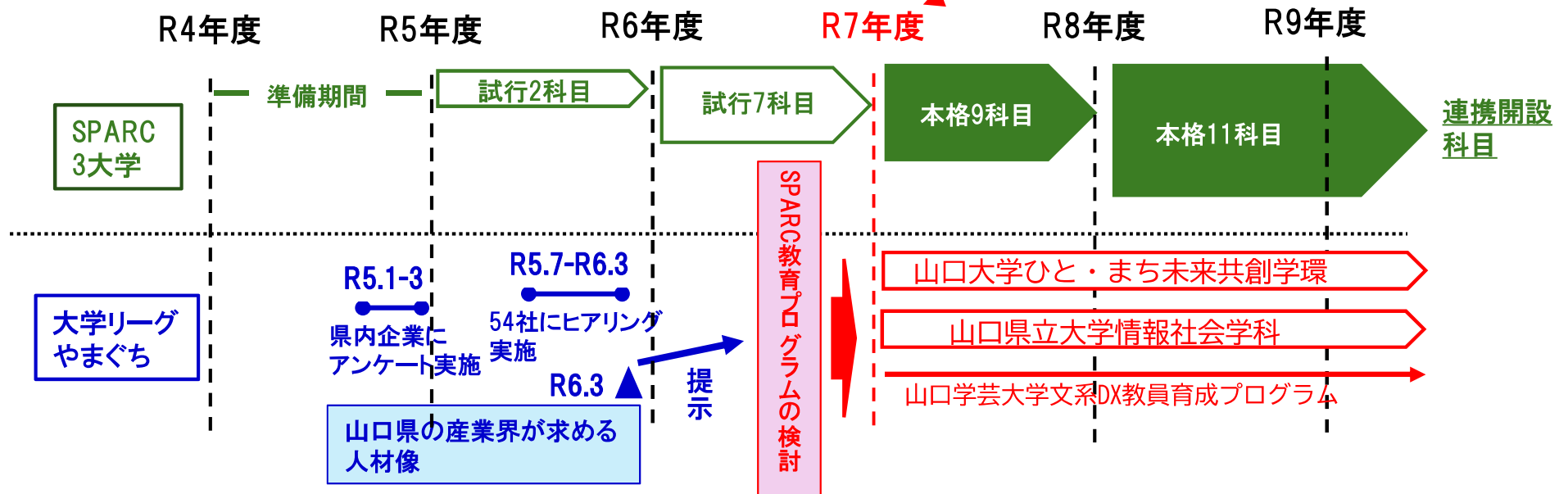
同時並行方式 山口方式SPARC

報告したいテーマ

8

- ◆教育組織再編に係る経費に補助金を活用する
- ◆事業年度内に新教育プログラムの評価も行う

山口大学
(ひと・まち未来共創学環)
山口県立大学
(国際文化学部情報社会学科)
ともに令和7年度再編！



求める人材の明確化 山口方式SPARC

報告したいテーマ

9

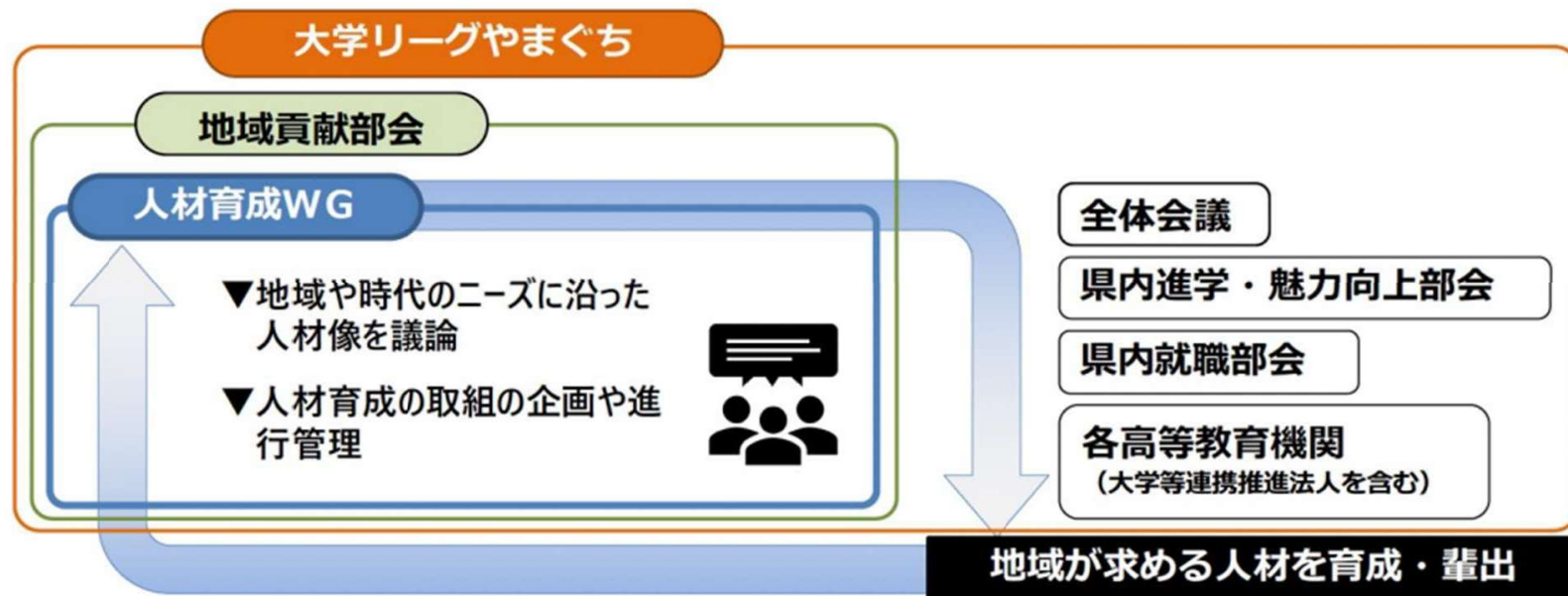
地域が求める人材育成ワーキンググループ

大学リーグやまぐち

地域貢献部会

地域が求める人材育成ワーキンググループ

- ◆大学等と地域・企業等の関係者が、地域や時代のニーズに沿った人材像を議論するとともに、人材育成の取組の企画や進行管理等を行うワーキンググループを設置・運営



令和5年度第2回大学リーグやまぐち全体会議（令和6年3月26日）資料より抜粋

4

国公立連携による文系DX人材育成

見えてきた課題と解決に向けての実践

今後のチャレンジ

10

◆ 大学等連携推進法人・連携開設科目

- 「国立・公立・私立」－ 組織を超えて教育の質を如何に保つか
- 大学間だけの問題では済まない－地域や個人への影響
- これまでにない教員の立ち位置の出現
 - ・ 本務として他大学の学生を受け持つ

◆ 「人材像の明確化」と「教育プログラム検討」の並行実施

- 補助金を教育組織再編に係る経費にも活用する
- 事業年度内に新たに再編した教育プログラムの評価も行う

山口方式SPARC